

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		ハピー上福岡駅前教室					公表日	2025年 10月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		支援に合わせて部屋を使用し、ニーズ沿って適切に使用しています。				
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		カリキュラムに合わせた人数配置を行っています。				
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	1階にある為段差が少ないです。		手洗い場の位置が高い為、補助階段を置き対応しています。入口の段差が高い為、今後補助階段等の設置を検討します。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	毎朝の掃除や教材の消毒する等、清潔な環境を保てるよう努めています。				
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		集団等で気持ちが崩れた子どもがいた際には、別室にて対応を行っています。				
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	職員会議等の場で定期的に目標設定の共有や振り返りを行っています。		シフト状況により、職員会議等に全員が参加できないことがあります。極力参加者の多いタイミングで実施するように努めています。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		年に1回実施し評価を掲示しています。HPでも掲載しています。				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	職員会議等で意見交換を行っています。				
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2	職員会議等の場でご意見や課題に対して改善方法について話し合いを行っています。		外部評価は行っていませんが、内部監査を実施して業務改善につなげています。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	社内で定期的に研修を実施しています。		外部の研修に参加する機会が無い為、必要に応じて検討して参ります。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	個別支援計画書と支援の際のフィードバックでプログラム内容をお伝えしています。				
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		お子様の分析や対応について話し合いをした上で、アセスメントの実施をしています。				
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		個別支援計画の会議等で、目標の共有を行っています。				
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		議事録を作成し回覧をしています。ケースファイルに保管してどの職員でも閲覧できるようにしています。				
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	社内で統一されたツールを用いて作成しています。		社内ツールの変更の際は、職員全員がスムーズに適応していくことが課題です。		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	5領域を踏まえた上で、支援内容の設定を行っています。				
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		指導員間で、必要に応じて情報の共有や相談を行なながら、支援を立案しています。				
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		継続する課題は行いつつ、固定化されない様工夫しています。				
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	2	お子様のニーズや様子に合わせて個別や集団の提案を行っています。		職員配置を考慮しつつニーズに合わせた個別支援を提供しています。		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	目標の達成に向けて職員間で相談を行っています。		打合せや共有を行っていくよう準備を行ってまいります。		

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	朝終礼にて振り返りや情報共有を行っている。	全職員が把握できるよう努めています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		支援の記録を作成し、全職員が閲覧しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		中間時期やその他保護者から希望があった際など、必要に応じて面談や家族支援を実施し、支援方針を確認している。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		担当職員や児発管が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		必要な関係機関との連携の日程調整や連携を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		情報共有を行い共通理解を深めています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		引継ぎシートの作成や訪問を行い引継ぎを行っています。	
関係機関や保護者との連携	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	1	利用者様から希望があれば療育センターなどとの連携も行っています。	助言や研修の機会は無い為、今後機会を設けていきたいです。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	3	4	連携で訪問の際にお子さまの様子を見る場面はあります。	利用されていないお子さまと関わる機会はないです。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		支援後にフィードバックの時間を設けています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		ペアレントトレーニングを定期的に実施しています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	丁寧な説明を行うよう心掛けています。	変更が生じた場合は速やかに説明を行います。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		定期的にアセスメントを行い、お子さまの気持ちや意思を確認しながら、ニーズの把握に努めています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		個別支援計画の提示の際に説明を行い、同意を頂いています。	
保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		支援後のフィードバックの時間や必要に応じて家族支援を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	3	ペアレントトレーニングを定期的に実施し、交流の場を設けています。	保護者同士の交流できる機会を今後設けていきたいです。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		迅速に対応することを心掛けています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		月のお便りや連絡アプリのメッセージ等で、情報共有を行っています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報を含む書類やデータに関しては施錠ができるロッカーに保管しています。	

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		絵カード等の視覚提示を行うことでお子さまに合った配慮を取り入れています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	外部の関係機関の方の訪問は積極的に受け入れています。	必要に応じて、地域の方にも事業内容を知っていただく機会を設けていきたいです。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	法で定められた対応を行っています。年2回以上訓練を行っています。	動きや内容について職員間で共有できるよう実施をしていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		業務継続計画(BCP)を策定し、定期的に利用者様を含む訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		アレルギーや服薬に関しての情報をまとめています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	調理イベント等、アレルギーに配慮した形で実施しています。	医師の指示書がある場合は対応に沿って行います。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画を作成し、計画に沿った研修や訓練を定期的に行い、安全管理の徹底を行っています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	契約時に重要事項説明書にてお伝えしています。	周知する機会を増やしていくよう改善していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		報告書を作成し、再発防止に向けた話し合いを職員間で行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		社内で実施している研修を必ず受講しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1	現在、計画書への記載はないが、契約時にご説明しご理解をいただいています。	身体拘束研修を実施しているので、全職員が説明ができるようにしていきます。